

景気対策について

質問（益子岩夫議員）昨年来からの大型景気対策が本市にもたらした経済効果について伺います。

答弁（市長）昨年からの世界的な景気悪化により、落ち込んだ景気回復と雇用の創出を図るため、国は総額七十五兆円を超える景気対策を矢継ぎ早に行つてまいりました。これらの対策を受け、平成二十年度九月補正予算により二千七百十一万円で石上小学校など九校の耐震診断業務を実施しております。さ

らに、三月補正予算により、両郷、須賀川地区のインターネットアクセス網の整備のほか、市営バスの更新、須賀川小学校など八校の耐震診断業務、市道の整備や橋梁の現況調査など総額四億二千九百八十六万円の事業を実施しております。また、八千八百五十万円で生活体験地域住宅モデル普及推進事業を実施しております。そのほか、県に基金を造成し、地域の雇用機会の創出を図る事業を活用して、観光ルートへの企画作成と地場産

品PR事業、小中学校に算数・数学の支援助手や英語活動指導員を配置するなど総額二億六千五百七十五万八千円の事業を既に実施しているところでありま

す。

なお、国が経済対策として実施しております定額給付金の状況につきましては、本市の給付見込み総額十一億四千四百四十四万八千円でありまして、四月九日から六月八日までの支払い総額は十億九千二百四十七万二千円で、給付率95.5%となっております。昨年から幾度にもわたる国、県、市の経済対策は必ず効果が上がるものと期待をいたしております。



定額給付金の申請をお忘れなく



水辺公園の計画予定地（若草地内）

水辺公園について

質問（井上雅敏議員）水辺公園事業につきまして、今後どのようにする考えなのか伺います。

答弁（市長）水辺公園事業は平成二年一月に総合レクリエーション公園大田原市水辺公園として計画し、平成三年二月に都市計画公園5・5・1号水辺公園として都市計画の決定がなされた総合公園であります。その後、社会状況の変化、価値観の多様化を踏まえ、平成十三年十二月に見直しを行い、高齢者や障害

者等を含めたすべての利用者を対象に快適な場を提供することが本計画の意義と考え、リハビリ機能を持った公園に力点を置いた計画への変更を行ったところであります。平成二十年度までの事業費は、用地取得補償費・基本計画変更計画策定など十二億千四百六十五万二千円となっております。用地の取得率は42.39%であります。

本事業は新市建設計画に計上してありますので、最終年次で

あります平成二十七年までには可能な限り用地取得を続け、ほぼ全面積に近い用地取得ができた時点で新たな事業採択の申請をする方針であります。計画内容につきましては、水辺公園の基本方針であります「自然と共生し、みんなにやさしい心身の健康づくりに資する公園」を生かしながら、記念樹の森計画も考慮し、公園の規模を始め計画内容等総合的な見直しについて関係係課とも十分協議を行いながら進めてまいりたいと考えております。